ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/05/02 号(As of 2024/05/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	157.93
TKY 9:00AM	157.75	1.0667	168.26	1.2489	0.6475
SYD-NY High	157.99	1.0732	168.65	1.2550	0.6540
SYD-NY Low	153.00	1.0650	164.03	1.2467	0.6466
NY 5:00 PM	154.60	1.0713	165.49	1.2527	0.6523

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,903.29	87.37	日本2年債	0.2800%	0.0100%
NASDAQ	15,605.48	▲ 52.34	日本10年債	0.8900%	0.0200%
S&P	5,018.39	▲ 17.30	米国2年債	4.9675%	▲0.0687%
日経平均	38,274.05	▲ 131.61	米国5年債	4.6595%	▲0.0550%
TOPIX	2,729.40	▲ 13.77	米国10年債	4.6386%	▲0.0423%
ｼｶｺﾞ日経先物	37,980.00	▲ 210.00	独10年債	2.5825%	0.0020%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,121.24	▲ 22.89	英10年債	4.3660%	0.0200%
DAX	-	-	豪10年債	4.4900%	0.0740%
ﾊﾝｾﾝ指数	-	-	USDJPY 1M Vol	10.27%	▲0.13%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	10.37%	0.14%
NY金	2,311.00	8.10	USDJPY 6M Vol	10.17%	0.10%
WTI	79.00	▲ 2.93	USDJPY 1M 25RR	▲0.77%	Yen Call Over
CRB指数	285.44	▲ 6.02	EURJPY 3M Vol	9.97%	0.19%
ドルインデックス	105.76	▲ 0.47	EURJPY 6M Vol	9.88%	▲0.04%

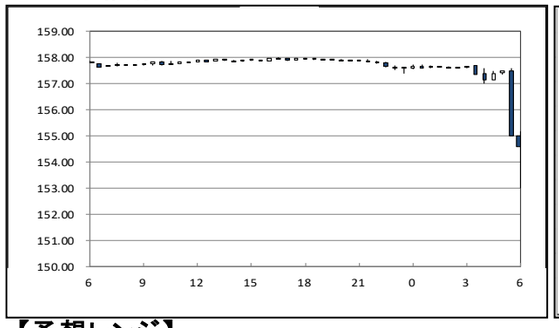
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
5月1日	21:15	米	ADP雇用統計	4月	192k	183k
	22:45	米	製造業PMI・確報	4月	50	49.9
	23:00	米	建設支出(前月比)	3月	−0.2%	0.3%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	4月	49.2	50
5月2日	03:00	米	FOMC政策金利(上限)	1−May	5.50%	5.50%
	03:00	米	FOMC政策金利(下限)	1−May	5.25%	5.25%
	03:30	米	パウエルFRB議長 講演	「確信を強めるのには、従来の想定よりも時間がかかりそうだ」		

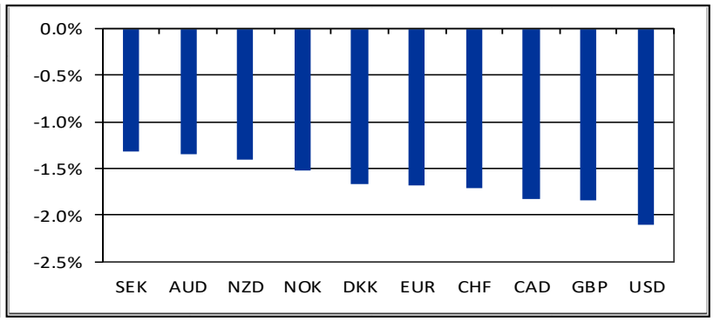
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
5月2日	16:55	独	製造業PMI・確報	4月	42.2	42.2
	17:00	欧	製造業PMI・確報	4月	45.6	45.6
	21:30	米	貿易収支	3月	−$69.7b	−$68.9b
	21:30	米	新規失業保険申請件数	27−Apr	211k	207k
	23:00	米	製造業受注(前月比)	3月	1.6%	1.4%
	23:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	3月	2.6%	2.6%
5月3日	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	4月	240k	303k
	21:30	米	失業率	4月	3.80%	3.80%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	4月	0.30%/4.00%	0.30%/4.10%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00～157.00	1.0650～1.0750	163.00～168.50

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は157.75ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午前中はややﾄﾞﾙ買いが優勢な展開となるなか、ｼﾞﾘｼﾞﾘと上昇し昼過ぎには157円90銭台を付ける場面が見られた。その後は上値が重く157円80銭台を中心に小幅な値動きとなり、結局157.87ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、157.87ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米10年債利回りが上昇する中、米4月ISM指数の発表やFOMCを午後に控え、上値が重い展開。方向感なく小幅推移し、結局157.75でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は157円台後半でｽﾀｰﾄ。米長期金利の上昇を眺めながら、ﾄﾞﾙ円も底堅く推移し、157.99まで上昇。しかし、その後は伸び悩み反落し、157.75でNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米3月JOLT求人件数や、米4月ISM製造業景況指数が予想を下回った事が嫌気され、米金利の低下に伴い、ﾄﾞﾙ売りが優勢となり、157.60付近まで下落し、FOMCの結果発表を待つ。午後に発表された注目の米5月FOMCでは、政策金利を6会合連続で5.25%−5.50%に据え置いた一方、6月から米国債の縮小ﾍﾟｰｽを600億ﾄﾞﾙから250億ﾄﾞﾙに減らす等、ﾊﾞﾗﾝｽｼｰﾄの縮小ﾍﾟｰｽを減速する事も発表された。続いて行われたﾊﾟｳｴﾙFRB議長の記者会見では特段ｻﾌﾟﾗｲｽﾞの発言は見当たらなかったものの、今後の追加利上げの可能性は低いとの考えを示す等ﾊﾄ派寄りのｺﾒﾝﾄが目立ち、一時157.00まで下落するも、その後は再び157.60付近まで戻す。終盤では、本邦当局による為替介入が行われたとの噂が立つ中、153円台前半まで急落する等激しい値動きが見られ、154.60でｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外時間のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.0672でNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は先述の弱い米経済指標の結果を受け、ﾄﾞﾙ売り地合いの中、1.0695まで上昇。午後はﾊﾄ派よりの米FOMCの内容を受け、米金利が一段と低下する展開を横目に、1.0733まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、1.0713でｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間・ロンドン時間ではFOMC控え157円後半で推移。NY時間午前では米3月JOLTS求人件数や米4月ISM製造業景況指数が予想対比下振れ、米金利下落と共にドル円も157.60付近まで下落。FOMC声明文では金利据え置き、6月からのQT減速が発表された。その後のパウエル議長記者会見では「次の動きが利上げとなる可能性は低い」と利上げを否定したハト派的発言が目立った。終盤にはドル円が大きく下落し一時153.00円を付けたものの、その後は戻され154.60でクローズ。本日のドル円はボラタイルな動きの中、上値の重い展開を予想。パウエル議長が想定よりタカ派転向していないこととドル円は為替介入とも思われる動きがみられることから、ドルを再び積極的に買いにくい地合いと思われる。週末には米4月雇用統計が控えているが、強含んだところでドル円は再びの下落を警戒して上値が伸びにくいと考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岩下・范